



## MLD プロキシ

---

この章は、次の項で構成されています。

- [ipv6 mld-proxy ssm](#) (2 ページ)
- [ipv6 mld-proxy](#) (3 ページ)
- [ipv6 mld-proxy downstream protected](#) (4 ページ)
- [ipv6 mld-proxy downstream protected interface](#) (5 ページ)
- [show ipv6 mld-proxy interface](#) (6 ページ)

## ipv6 mld-proxy ssm

IP マルチキャストアドレスの Source Specific Multicast (SSM) 範囲を定義するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **ipv6 mld-proxy ssm** コマンドを使用します。SSM 範囲をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

### 構文

```
ipv6 mld-proxy ssm {default | range access-list}
```

```
no ipv6 mld-proxy ssm
```

### パラメータ

**default** : FF3x::/32 への SSM 範囲のアクセス リストを定義します (rfc4607 を参照してください)。

**range** *access-list* : SSM 範囲を定義する標準の IPv6 アクセス リスト名を指定します。

### デフォルト設定

このコマンドはディセーブルです。

### コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

### 使用上のガイドライン

新しい **ipv6 mld-proxy ssm** コマンドは、以前の **ipv6 mld-proxy ssm** コマンドをオーバーライドします。

定義されているすべての範囲を削除するには、**no ipv6 mld-proxy ssm** コマンドを使用します。

### 例

次の例は、デフォルトの IPv6 アドレス範囲とアクセス リスト **list1** によって定義された IPv6 アドレス範囲の SSM サービスを設定する方法を示します。

```
switchxxxxxx (config) # ipv6 access-list list1 permit FF7E:1220:2001:DB8::/64  
switchxxxxxx (config) # ipv6 access-list list1 deny FF7E:1220:2001:DB1::1  
switchxxxxxx (config) # ipv6 access-list list1 permit FF7E:1220:2001:DB1::/64  
switchxxxxxx (config) # ipv6 pim mld-proxy range list1
```

## ipv6 mld-proxy

MLD プロキシツリーにダウンストリーム インターフェイスを追加するには、インターフェイス コンフィギュレーション モードで **ip mld-proxy** コマンドを使用します。インターフェイス から MLD プロキシツリーへのダウンストリームを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

### 構文

```
ipv6 mld-proxy upstream-interface-id
```

```
no ipv6 mld-proxy
```

### パラメータ

- *upstream-interface-id* : アップストリーム インターフェイス識別子。

### デフォルト設定

プロトコルはインターフェイスで無効です。

### コマンドモード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

### 使用上のガイドライン

MLD プロキシツリーにダウンストリーム インターフェイスを追加するには、**ipv6 mld-proxy** コマンドを使用します。プロキシツリーが存在しない場合は、作成されます。

ダウンストリーム インターフェイスを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。最後のダウンストリーム インターフェイスがプロキシツリーから削除されると、プロキシツリーも削除されます。

**例 1.** 次の例では、そのアップストリーム インターフェイスとして **vlan 200** を持つ MLD プロキシプロセスに、ダウンストリーム インターフェイスを追加します。

```
switchxxxxxx(config)# interface vlan 100
switchxxxxxx(config-if)# ipv6 mld-proxy vlan 200
switchxxxxxx(config-if)# exit
```

**例 2.** 次の例では、**vlan 200** をアップストリーム インターフェイスとする、IGMP プロキシプロセスに、ダウンストリーム インターフェイスの範囲を追加します。

```
switchxxxxxx(config)# interface range vlan 100-105
switchxxxxxx(config-if)# ipv6 mld-proxy vlan 200
switchxxxxxx(config-if)# exit
```

## ipv6 mld-proxy downstream protected

ダウンストリーム インターフェイスからの IPv6 マルチキャスト トラフィックの転送を無効にするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **ipv6 mld-proxy downstream protected** コマンドを使用します。ダウンストリーム インターフェイスからの転送を許可するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

### 構文

```
ipv6 mld-proxy downstream protected  
no ipv6 mld-proxy downstream protected
```

### パラメータ

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

### デフォルト設定

ダウンストリーム インターフェイスからの転送を許可します。

### コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

### 使用上のガイドライン

ダウンストリーム インターフェイスからの転送をブロックするには、**pv6 mld-proxy downstream protected** コマンドを使用します。

### 例

次の例では、ダウンストリーム インターフェイスからの転送を禁止します。

```
switchxxxxxxx(config)# ipv6 mld-proxy downstream protected
```

# ipv6 mld-proxy downstream protected interface

特定のダウンストリーム インターフェイスからの IPv6 マルチキャスト トラフィックの転送を無効または有効にするには、インターフェイス コンフィギュレーション モードで **ipv6 mld-proxy downstream protected interface** コマンドを使用します。デフォルトに戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

## 構文

```
ipv6 mld-proxy downstream protected interface {enabled | disabled}
```

```
no ipv6 mld-proxy downstream protected interface
```

## パラメータ

- **enabled** : インターフェイスでのダウンストリーム インターフェイスの保護が有効です。インターフェイスに到着した IPv6 マルチキャスト トラフィックは転送されません。
- **disabled** : インターフェイスでのダウンストリーム インターフェイスの保護が無効です。インターフェイスに到着した IPv6 マルチキャスト トラフィックは転送されます。

## デフォルト設定

グローバル ダウンストリーム保護の設定 (**ipv6 mld-proxy downstream protected** コマンドを参照してください)

## コマンドモード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

## 使用上のガイドライン

特定のダウンストリーム インターフェイスからの転送をブロックするには、**ipv6 mld-proxy downstream protected interface disabled** コマンドを使用します。

特定のダウンストリーム インターフェイスからの転送を許可するには、**ipv6 mld-proxy downstream protected interface enabled** コマンドを使用します。

このコマンドは、ダウンストリーム インターフェイスに対してのみ設定できます。ダウンストリーム インターフェイスが MLD プロキシ ツリーから削除されると、設定も削除されます。

## 例

次の例では、ダウンストリーム インターフェイス vlan 100 からの転送を禁止します。

```
switchxxxxxx(config)# interface vlan100  
switchxxxxxx(config-if)# ipv6 mld-proxy downstream protected interface enabled  
switchxxxxxx(config-if)# exit
```

## show ipv6 mld-proxy interface

MLD プロキシに設定されたインターフェイスに関する情報を表示するには、ユーザ EXEC モードまたは特権 EXEC モードで **show ipv6 mld-proxy interface** コマンドを使用します。

### 構文

```
show ipv6 mld-proxy interface [interface-id]
```

### パラメータ

- **interface-id** : (任意) インターフェイスに関する MLD プロキシ情報を表示します。

### コマンドモード

ユーザ EXEC モード

特権 EXEC モード

### 使用上のガイドライン

MLD プロキシが有効になっているすべてのインターフェイスを表示する、または特定のインターフェイスの MLD プロキシ設定を表示するには、**show ipv6 mld-proxy interface** コマンドを使用します。

**例 1.** 次の例では、MLD プロキシが有効になっているすべてのインターフェイスの MLD プロキシ ステータスを表示します。

```
switchxxxxxx# show ip mld-proxy interface
```

\* - the switch is the Querier on the interface

```
IPv6 Forwarding is enabled
IPv6 Multicast Routing is enabled
MLD Proxy is enabled
Global Downstream interfaces protection is disabled
SSM Access List Name: list1
Interface Type          Discarding IPv6 Multicast
  vlan 100  upstream
*vlan 102  downstream  enabled
*vlan 110  downstream  default
  vlan 113  downstream  disabled
```

**例 2.** 次に、指定したアップストリームインターフェイスに対する **show ipv6 mld-proxy interface** コマンドの出力例を示します。

```
switchxxxxxx# show ipv6 mld-proxy interface vlan 100
```

\* - the switch is the Querier on the interface

```
IPv6 Forwarding is enabled
IPv6 Multicast Routing is enabled
MLD Proxy is enabled
Global Downstream interfaces protection is disabled
SSM Access List Name:
```

```
vlan 100 is a Upstream interface
Downstream interfaces:
 *vlan 102, *vlan 110, vlan 113
```

**例 3。**次に、指定したダウンストリームインターフェイスに対する **show ipv6 mld-proxy interface** コマンドの出力例を示します。

```
switchxxxxxx# show ipv6 mld-proxy interface vlan 102
IPv6 Forwarding is enabled
IPv6 Multicast Routing is enabled
MLD Proxy is enabled
Global Downstream interfaces protection is disabled
SSM Access List Name: default
vlan 102 is a Downstream interface
The switch is the Querier on vlan 102
Upstream interface: vlan 100
```

**例 4。**次に、IGMP プロキシが無効になっているインターフェイスに対する **show ipv6 mld-proxy interface** コマンドの出力例を示します。

```
switchxxxxxx# show ipv6 mld-proxy interface vlan 1
IPv6 Forwarding is enabled
IPv6 Multicast Routing is enabled
MLD Proxy is disabled
```

```
show ipv6 mld-proxy interface
```